



## クリスマス を 祝う その意味と原則

今年もクリスマスを待ち望む「待降節」（アドベント）の時期になりました。クリスマスとは「キリスト」（Christ）の「ミサ（礼拝）」（mas）という意味で、降誕祭とも呼ばれますが、それは単にお祭り騒ぎをして楽しむことではありません。イエス・キリストの降誕は、救いを必要としている人と共に神がおられるという約束です。クリスマスを迎えるにあたっては、この主の降誕の意味を、「静かに、深く」、味わうことがいちばん大切です。そして、それが私たちにとっての「クリスマスの心」なのであり、その心を整える準備期間がアドベントなのです。

私たちの教会では50年にわたって「クリスマスの心」を中心に据えたクリスマスの祝い方の講習会を開いてきました。それは私たちらしいクリスマスの祝い方を作り出し、それが私たちの伝統になることを願ってのことでした。2010年から講習会はこの小冊子にバトンタッチされましたが、よりたくさんの人に教会の「クリスマスの心」の意味が伝わり、本当に意義深いアドベントを過ごしてもらいたいという思いに変わりはありません。

困難なこと、重たいものを抱えている人のそばにいつも寄り添ってくれる神様。神様はイエス様をこの世の「新しい光」として生まれさせました。飼い葉桶に静かに横たわる幼子の姿にじっと目を凝らしながら、「静かに、深く」祈りのアドベントを過ごす、今年もこの「クリスマスの心」を大切にしていましましょう。



## 2020 クリスマスカレンダー

- 11月27日（金） クリスマス飾り付け 10:30
- 11月29日（日） 待降節 I 小冊子発行
- 12月 6日（日） 待降節 II
- 12月13日（日） 待降節 III
- 12月16日（水） アドベント夕礼拝 19:00
- 12月19日（土） キャロリング 夕方
- 12月20日（日） 待降節 IV 降誕日  
降誕日礼拝 洗礼式・聖餐式  
SS降誕日礼拝・祝会 9:00  
(家庭クリスマス それぞれの都合に合わせて)
- 12月24日（木） 燭光礼拝 19:00
- 12月25日（金） 平日ソラール クリスマス聖餐式 14:00
- 12月26日（土） クリスマスの片付け 10:00



クリスマス委員会 小冊子係

表紙 ■ さすけくん（6ヶ月）

今年パンデミックの中で生まれた小さな命。

静かに何を思っているのだろう…



2020



## わたしたちのクリスマス



日本基督教団 六角橋教会

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋1の26の8

TEL 045 (432) 0694 FAX 045 (432) 0194

2020.11.29発行





## パンデミックのクリスマス

今年のクリスマスは特別なものになりました。コロナウイルスのため、みんなで集まることも歌うこともできなくなりました。ヨーロッパやアメリカでは感染拡大が止まらず、その致死率の高さから事態はより深刻なものとなっています。こんなときにクリスマス？いや、こんな時だからこそ、私たちにとっての「クリスマスの心」を今一度「静かに、深く」見つめ直して見る必要があるのではないでしょうか。「イエス・キリストの降誕は、救いを必要としている人と共に神がおられるという約束です。」

人類は長い歴史の中で度重なる疫病の流行（パンデミック）を経験してきました。3世紀には「キプリアヌスの疫病」と呼ばれる感染症が流行し、ローマでは1日5千人あまりが犠牲になったそうです。司教キプリアヌスは、死は終わりではなく通過点であり、その後に永遠の命が続くと説き、死の恐怖と絶望の中にある人々に希望と救いを与えたそうです。

中世ヨーロッパでは黒死病（ペスト）によるパンデミックがたびたび発生し、人々を恐怖に落とし入れました。あのマルティン・ルターも町からの避難を命じられましたが、そこにとどまり病人の世話にあたったそうです。黒死病のためヨーロッパの人口は3分の2くらいに減り、その後の人々の宗教観にも多大な影響を与えたようです。

今のこの時代ではどうでしょう？ 教皇フランシスコは、2020年8月19日の一般謁見で社会の不正義とい

う大きな「ウイルス」について言及しています。パンデミックにより格差が広がり、人々は疎外され、貧しい人々へは十分な保護が与えられません。貧しい人々への優先的配慮が福音の中心であり、キリスト者は、病んだ社会構造を変えていくために働くべきであると説きます。

参考に読んでみた本（『コロナウイルス禍の世界で、神はどこにいるのか』ジョン・レノックス著 いのちの言葉社）の中でオックスフォード大学レノックス教授は「クリスチャンは、試練に関する問題を解決した人たちではありません。私たちに代わって苦難を受けた神を信頼し、愛することを知った者です」と語り、こう結んでいます。

「あなたが時間をとって、この方が本当に希望と平和を与える神かどうかを探ることを心から望みます。それが何か月、たとえ何年かかったとしても。」

今年のクリスマスによるこそ！



## クリスマス！！

クリスマスが今年もやってきた！！やはりクリスマス前の時期のワクワクが大好きで、当日は何をして過ごそうか、と悩むことが楽しくて仕方がないです。例年であれば、クリスマスはどこかへ外出し、いい感じに遊んで朗らかに帰宅するのですが、このご時世そうはいきません。今は今年のおうちクリスマス、もとい『家庭クリスマス』を充実させるため、自分へのプレ

ゼントという名目で、デパートの通販サイトの煌びやかなケーキ特集を眺めては夢を膨らませています。

プレゼントといえば、やはり教会のクリスマス会を思い出します。私は幼小科の頃、日曜学校のクリスマス祝会が大好きでした。「教会といえばクリスマス！と、プレゼント！」という気持ちで、毎年ワクワクしながら当日を迎えていました。

当時、何名ものサンタさんから様々なプレゼントを頂きましたが、その中でも手編みのひざ掛けとマフラーは本当に嬉しく、印象に残っている品です。ひざ掛けは、小学生の頃はお昼寝布団として使用し、冷えが気になる年頃の学生時代には膝にかけて授業を受け、卒業してからは再びお昼寝布団として、猫と一緒に愛用していました。

マフラーは長くてピンク色の、かわいくて暖かいマフラーだったので、少し寒いと感じたらすぐに押入れから出し、外出時には必ず巻いていました。難なく蝶々結びができる長さのマフラーは、人生でこのマフラーしか知りません。どちらもお気に入りなので、まだ大事に保管しています。どこかのサンタさん達、本当にありがとうございます！

こういう事を思い出すと、とうの昔に自宅に寄り付かなくなったサンタクロースも恋しくなります。ただ、私は立派な大人ですので、もうサンタクロースを待ちません。「今の時代、サンタは追いかけないと！」ということで、当日は自宅でNORAD（北米航空宇宙防衛司令部）の「サンタ追跡サイト」で、サンタが世界を移動する形跡を確認しながら、厳選したケーキを頬張ろうと思います。